

そば打ち&消防レスキュー訓練を体験!



いながわ

高橋 祐子



田野 香織

特派員報告

いよいよ今年最後の月となりました。年末年始に向けて楽しいイベントの多いこの時期にふさわしく、今月は体験ルポを豪華2本立てでお届けします。

新そばの季節到来。自分のために、自分の手でおいしいそばを打ってみました。

材料は猪名川町産のそば粉と水だけ

そばの館館長、林みつ子さんが教えてくれます。道具はすべて貸してくれます。

最初はパン粉のようにぼろぼろですが、作業するうちに

そば打ち体験、心もおなかも満たされて

もっちりとした塊になります。これを練っていきます。印象的だったのは「菊練り」で、生地を中央を窪ませつつ回りにひだをよせ、菊の花のように仕上げます。林館長が手首でしなやかにこねると、大輪の菊の花が現れました! やってみると難しく、格闘していると林館長が優しく手助けしてくれました。

林館長に言われるまま生地を台の上で方向転換させて伸ばして、を繰り返して、気がつけば、あら不思議、丸かった生地が薄い四角形になりました。「猫の手」にした両手で軽快に円を描きながらめん棒を押しします。割れずに厚みが均一で辺が直線の四角形にするには、伸

打ちたてを、その場でざるそばにしてもうまいました。みずみずしく、つややかでおいしい! さすが十割の味。残りはお土産にしました。林館長に教えてもらい、初めてでも上手にできました。自分で打つとうれしいものです。「お子さんも喜ばれますよ」とのことです。

「現場を想定し、手を抜くことなくしっかりとやりましょう!」訓練開始のあいさつに、場が引き締まります。まずは準備体操から。終了、カウントや掛け声で大声を出しつつ、各種ストレッチ、腕立て伏せと腹筋50回ずつします。

その後、庁舎周りのランニングに続き、二人組で相方をおんぶしてランニングなど。すごいきー!

「右足でロープを蹴って進んで!」大の字になれ! 「頑張り!」たくさんの声。ありがと! だけど、ロープに乗っているのが精一杯。動くと揺れて、落ちそう! ロープの上で、大の字? ごめんない、ムリ! ロープにしがみつき、腕だけで必死に前進。

「人の救出はもちろん、救出に入った自分が迷惑になることなく無事に戻るため」とのことです。

道場のすぐ横にあるレストランのお客さんが、興味をもつてのぞきます。林館長の「こやかな対応で、中まで入って見学する人も多く、「自分もやりたいがどうすれば」と館長に尋ねる人もいました。

折り返した生地をマッチ棒の幅に真っ直ぐ切りそろえます。集中していると、「うまく切れてるね」と、見学の人が褒めてくれて、いい気分。だけど、ちょっと気を抜くと太くなり始めるので、切り終わるまで油断禁物です。全部で5人前できました。

「現場を想定し、手を抜くことなくしっかりとやりましょう!」訓練開始のあいさつに、場が引き締まります。まずは準備体操から。終了、カウントや掛け声で大声を出しつつ、各種ストレッチ、腕立て伏せと腹筋50回ずつします。

その後、庁舎周りのランニングに続き、二人組で相方をおんぶしてランニングなど。すごいきー!

「右足でロープを蹴って進んで!」大の字になれ! 「頑張り!」たくさんの声。ありがと! だけど、ロープに乗っているのが精一杯。動くと揺れて、落ちそう! ロープの上で、大の字? ごめんない、ムリ! ロープにしがみつき、腕だけで必死に前進。

「人の救出はもちろん、救出に入った自分が迷惑になることなく無事に戻るため」とのことです。



▶ 菊練りに挑戦



▶ めん棒で生地を伸ばします



▶ 真っ直ぐに切りそろえます

そばは奥が深く、「そば打ち段位認定試験」もあるほどです。道場内にも段保持者の名前が掲げられています。興味のある人は、この道場での体験を足がかりに名人を目指してはいかがでしょうか。

高い場所からの救出などを想定した訓練です。救助隊員がロープでさーっと降りる、あれです。

川で流された人の救出などを想定した訓練です。高さ7m、距離20mに張ったロープを使用します。ロープに体を平行にぶら下げて進む「チロリアン渡過」と、ロープの上を腹ばいで伝う「セーラー渡過」を行います。

「右足でロープを蹴って進んで!」大の字になれ! 「頑張り!」たくさんの声。ありがと! だけど、ロープに乗っているのが精一杯。動くと揺れて、落ちそう! ロープの上で、大の字? ごめんない、ムリ! ロープにしがみつき、腕だけで必死に前進。

「人の救出はもちろん、救出に入った自分が迷惑になることなく無事に戻るため」とのことです。

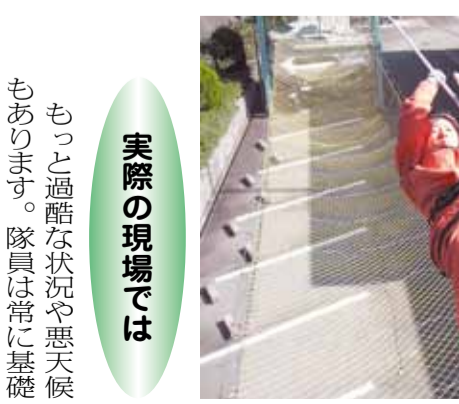
消防レスキュー体験、実際の訓練に参加



▲これからレスキュー訓練を体験



▲降下訓練に挑戦



▲チロリアン渡過に挑戦

もっと過酷な状況や悪天候もあります。隊員は常に基礎体力をつけ、今回よりもずっと厳しい訓練を重ね、毎年夏のレスキュー大会に出場して、いざという時に備えています。

実際の現場では

編集後記



そば打ちは予約のうえ体験できます(その場で食べる場合別途500円必要。詳細は、そばの館 ☎767・8600、水曜日休館)。

消防レスキューは、中学生の「トライやる・ウィーク」などを除き体験はないのですが、消防車や、庁舎内の見学は大歓迎です(詳細は、消防本部 ☎766・0119)。